

令和5年度  
学校関係者評価書

〈専〉 京都建築大学校

## 1. 実施日

第1回目 令和5年9月 7日(木)

第2回目 令和6年3月15日(金)

## 2. 学校関係者評価委員

### (1) 委員

玉田 芳史 氏	放送大学 京都学習センター 所長
元山ゆたか 氏	一般社団法人 日本インテリア設計士協会 副会長
畠山 千代 氏	京都建築大学校卒業生 畠山悟さんの保護者
伏木 道雄 氏	伏木道雄建築設計事務所
浅田 能男 氏	アサダデザイン事務所 代表取締役
(議長) 沖嶋 秀樹 氏	京都建築大学校卒業生

### (2) 任期

委員任期を令和5年4月1日から令和6年3月31日とする。

## 3. 総括

1) 京都建築大学校の教育活動、学習成果、学生支援等の取組みについて、企業、卒業生、保護者の視点から検証を行った。

今年度も多数の資格合格者を出し、就職率も99.6%と非常に高い。また提携先の放送大学の卒業率も高い。このことから京都建築大学校における教育成果が継続して出ていることが分かる。したがって自己評価の結果は妥当であると思われる。

2) 今年度からエキスパートコースが新設されたが、順調に経過している。一級建築士の現役合格者を多数出せると期待している。

3) 高校訪問をしているとインテリアを希望する高校生が多い。本校ではインテリアアドバイザーコースを来年度から設ける。インテリアに関する幅広い知識やプレゼンテーション能力を学ぶコースで建築士取得には特化していない。

4) 学校教育法の一部が改訂される。特定専門課程を置くためには、学習時間に関する基準を時間数から単位数に置き換え、大学と同等の項目での自己点検評価の義務付け、外部の識見を有する者による評価を受ける努力義務が定められるが、いずれも本校ではすでに行っている。必要に応じて申請をすべきである。

委員会で検討された事項

検討事項				学校関係者の評価・提言
基準	項目	総括	自己評価	
学校運営	事業計画	毎年、事業計画を作成、理事会で報告し、法人ホームページで公開している。計画の進捗状況の管理と見直しを行っている。	4	適正に運営されている。
教育活動	目標の設定	資格取得やより実践的な職業教育を行えるような課程の編成・実施に向け教育課程編成委員会・学校関係者評価委員会の意見を採り入れている。	4	適正に運営されている。 年2回の教育課程編成委員会・学校関係者評価委員会において委員から意見を聞き、目標設定に反映している。
	教育方法・評価等	本校の教育理念である「即戦力を身に付けた人材の育成」に基づいた教育を実施している。それには、資格と実務能力が不可欠と考えている。教育課程は毎年見直し、検討を行っている。	4	適正に運営されている。 現場で働く方を非常勤講師として迎え、実践的な教育を行っている。最新の建築業界の情報を取り入れ授業を行っている。資格取得についても同様に常に新しい情報を取り入れ、対策講座に反映させている。
	資格・免許の取得の指導体制	目標とすべき資格の内容・意義について明確にし、繰り返し説明し指導を行っている。	5	適正に運営されている。 教育課程編成委員会・学校関係者評価委員会の提言を受け、資格試験の合否結果を分析して対策講座の理解度を上げるため努力している。その結果本年度も多くの合格者を出している。 毎年の合格実績を見ると、指導体制が出来上がっているように思われる。この状態を維持してもらいたい。
	教員・教員組織	分野毎に必要な教員体制を整備している。業務分担・責任体制は、規程等で明確に定めている。	4	適正に運営されている。 積極的に教員の採用を行っている。女性教員も採用し、より良い教育体制で臨んでいる。教員の高齢化が進んでいるので若返り

				が必要ではないか。
学修 成果	資格・免許 の取得率	常に改善を意識し、資格取得率 の向上を目指している。	4	適性に運営されている。 本年度も多くの合格者を出している。来年 度からはカラーコーディネーター検定から 色彩検定に替える予定である。色彩検定で もしっかり合格者を出して欲しい。
	就職率	就職専門スタッフが常駐し て行っている。学生個人の適 正・能力等を考慮した指導を 実施している。	5	適正に運営されている。 本年度も 90%後半という高い就職率を保っ ている。常に新しい情報を提供出来るよう に努力している。 離職率が高い中、卒業生の離職率が数%と いう数字は素晴らしい。仕事に関する心構 え等の教育、就職指導がうまくいっている からであろう。
学生 支援	学生相談	担任は、学生の生活状態・学 習状態の変化の兆候を見逃 さずに捉え、面談等を実施 し、その都度対応している。	4	適正に運営されている。 専門のカウンセラーとも連携を取り、慎重 に対応している。 精神的に弱っている学生や悩み事を抱えて いる学生の良き相談窓口になっているよう である。予約が取りづらい時もある。
	保護者との 連携	クラス担任制を導入してい るので、担任が必要に応じて 対応している。業務時間内 での保護者への連絡が困難な 場合が増えており担任の負 担が増している。	4	適正に運営されている。 担任の負担が大きくなる傾向にあるが、保 護者との連携は必要である。特に欠席の目 立つ学生に対し本人だけでなく保護者とも しっかり連携を取り、休学・退学を防止し てほしい。
教育 環境	防災・ 安全管理	消防用設備等の定期点検を 実施しており、改善が必要な 箇所については、随時対応し ている。	4	適正に運営されている。 防災・安全対策マニュアルを教職員に所持 させ、1年生全員にも配布している。コミ ュニケーションの授業の早い時期に時間を 取り、説明している。 最近では異常気象が多いので、適切な対応を お願いしたい。
学生 募集	学生募集 活動は、	会場ガイダンス等の進学説 明会に参加している。また高	4	適性に運営されている。 認知度も上がってきている。しかし、少子

	適正に行われているか	校訪問を行い、学校の情報提供を行っている。最近はインテリア希望の生徒が増えているのでしっかり説明できるようにしないといけない。		化の影響を受けているので広報活動のさらなる充実を期待している。 インテリアと言っても幅が広い。入学してから思っていたことと違うということではいけないので、本校のカリキュラムを伝え理解した上で出願に導いて欲しい。
	入学選考	受験生一人ひとりに対して、書類選考、面接を行っている。エキスパートクラスには、選抜試験（数学又は英語）を行っている。	4	適性に運営されている。 エキスパートクラスの中のインテリアコースの応募が少ないようである。高校側への適切なアピールが必要である。
	学納金	物価が高騰しているので、学費等が負担にならないような金額を設定している。	4	適正に運営されている。
法令の遵守	個人情報保護	個人情報の保護に関する規定に基づき、運用している	4	適正に運営されている。 個人情報が流失するというニュースが流れている。十分に注意・管理をして欲しい。
	学校評価	「毎年、自己点検・自己評価実施委員会において改善に取り組んでいる。	4	適正に運営されている。
	教育情報の公開	ホームページにおいて、学校の概要、教育内容等を情報公開している。	4	適正に運営されている。 学生・保護者に対しては、学生要覧ならびにシラバス冊子を配布して教育内容等をコミュニケーション等の時間に説明を行っている。